

## 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

### 1 事業の成果

中心市街地整備推進機構として発足以来、当法人の基本方針としている

- (1) 住む人を増やす、(2) 来る人を増やす、(3) まちづくりに参画する人を増やす、  
(4) 活動の強化、に沿って事業を実施した。

「住む人を増やす」については、遊休不動産のリサーチ業務により、住居付物件の情報や空き家情報の調査を実施した。

次に、「来る人を増やす」の「賑わいづくりイベント」は、新型コロナウイルス感染症の影響下において、その対策を講じながら開催した。多くのイベントが3年振りの開催となったが、コロナ禍前の実績に回復する兆しが見えてきた。

「まちづくりに参画する人を増やす」については、イベントにおける大学生の参画、佐賀玉屋や街なかのイベント会場における学生チャレンジショップ事業、空き店舗見学会など、遊休不動産を活用して新たな街のプレイヤーを増やす動きなどが加速した。

「活動の強化」については、事業のスクラップ&ビルドが多少進展した。令和4年度は、計画実施上、意識しておくべきポイントとして、以下の3項目を挙げていた。

- ① 人と人との絆づくり（共助の強化、関係人口の増加）
  - ・市民が語り合う、或いは相談し合うような場を街なかに作っていく。
  - ・街の真ん中にコミュニケーションを活発にする仕掛けをする。
  - ・佐賀の歴史、文化、農産物を発信し、地域の絆を強めると共に、他地域の人々が興味関心をもってくれるような仕掛けをする。
- ② 中心市街地が生活の場となり、そこで消費活動が行なわれる状況の創出
  - ・中心市街地のエリアごとに不足業種を洗い出し、そのエリアの特性に応じた出店相談に対応する。
  - ・マッチングを実施することで来街者のニーズと街のニーズの両王を満たす動きをする。
- ③ 強い店舗の育成
  - ・独創性のある事業内容の店舗の出店に力を入れる。
  - ・既存店舗の魅力を掘り起こし、消費者にそれを体験してもらうだけでなく、商店側においては新しい商品やサービスを創出する一助となる動きをする。
  - ・賑わいづくりイベントにおいては、街なかの事業者を巻き込むだけでなく、例えば高校生や大学生といった別のコミュニティも巻き込んで相乗効果を生む企画を実施する。
  - ・新しく街なかで商売を始める人がスタートしやすい環境を整えながら、地域商店街と

ともにプレイヤーの育成を図る。

・イベントを実施する際に「売れる店づくり」とセットで行う。

①については、一定の成果を残すことができた。また、②については、エリア特性に応じた相談対応にまでは至っていないが、マッチング実績の増加に繋げることができた。③については、街なか出店伴走支援事業や情報発信事業、中心市街地店舗のイベントへの参加など、一定の経営支援実績を達成しつつ、徐々に「育成」についても結果が表れている。

## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

- ①中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡する事業
- ⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業
- ⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業

### その他の事業

- ①駐車場業
- ②不動産仲介業

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	<b>街なかかわらばん発行事業</b> 年に6回隔月に発行。市民ライターを起用し、新しい切り口で街なか情報や人の動き、物件情報等を広く知らしめることにより、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。発行部数は9000部。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地に 関わる者 (E) 不特定多数	2,416

	<b>ホームページ運営事業</b> 昨年を引き続き、ホームページ上のフェイスブック表示に対し、細かなフォローを実施した。また、街なかかわら版との連携を強化し、アクセス数の向上に努めた。スマホでの閲覧に対応するためのリニューアルを行った。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	940
	<b>電波媒体による情報発信</b> ぶんぶん TV の「街なか情報」出演や FM 佐賀にイベント情報の告知を依頼する等、広報活動を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 3人	(D) 佐賀市。コミュニティFMは旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	146
	<b>駅前時計台垂れ幕</b> 駅前まちかど広場内の時計台に看板を設置し、中心市街地で開催されるイベント情報を提供した。	(A) 通年 (B) 駅前 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	970
	① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業		(事業費合計)	4,472
② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	<b>街なか遊休不動産活用促進事業</b> 空き家等マッチング支援事業を統合し令和2年度新規実施。遊休不動産の所有者に対し、その活用に対する意識啓発を図るとともに、その活用促進を行った。 事業者からの相談受付、支援体制の構築、運営等、遊休不動産の発掘・案内等、支援制度にかかる広報・啓発を行った。	(A) 空き店舗見学会:8回目 令和4年5月24日、9回目 令和4年7月27日、10回目 令和4年9月27日、11回目 令和4年11月22日、12回目 令和5年2月14日 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 物件所有者 (E) 47人	2,794
	<b>わいわい!!コンテナ2管理運営事業</b> 「新たなプレイヤーの発掘」、「商店街の回遊性向上」を重点目標として業務に取り組んだ。1つ目の重点目標については、定期開催のマルシェイベントを通じて、新規出店者を招くことができ、成果を上げることができた。2つ目の重点目標については、呉服元町の近隣店舗と連携し、スタンプラリー企画や656広場とわいわい!!コンテナ2でのイベント同時開催など、回遊性向上に貢献できた。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 3人	(D) コンテナ来場者 (E) 54,456人	11,992

	<b>まちなか交流広場管理事業</b> 街なか交流広場(656広場)の指定管理者として施設を管理し、イベント開催等活動促進を図った。平日に関してはコロナ禍前の利用が再開されず利用が少ない状況が続いた。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 3人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 26,671人	4,397
	<b>佐賀商工ビル管理事業</b> 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがのスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	3,295
	② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業			22,478
③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	<b>共通駐車サービス券事業</b> 中心市街地内の35か所の駐車場と契約し、サービス券登録の商店で買物した客の駐車利便性を向上させるため事業を実施した。	(A) 通年 (B) 中心市街地 (C) 2人	(D) サービス券利用登録店舗での利用客 (E) 不特定多数	2,935
	③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業			2,935
④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	未実施			
	④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業			
⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	<b>バルーンフェスタサテライトイベント</b> 新型コロナの影響で佐賀インターナショナル・バルーンフェスタが3年ぶりに有観客で開催され、街なかのサテライトイベントは多数開催できた。	(A) 令和4年11月2日～11月6日 (B) 656広場、新馬場通り芝生広場 (C) 3人	(D) 来場者 (E) 2,687人	1,411
	<b>BOOK マルシェさが事業</b> 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。古本市出店者を県内限定とせず、過去最多の出店者を集めた。また、シアター・シエマと656広場をオンラインでつないだトークショー実施するなど、やり方改善を図った。	(A) 令和4年10月1日、2日 (B) 呉服元町 (C) 5人	(D) 出店者・来店者 (E) 900人	2,375

	<b>佐賀城下ひなまつり賑わいづくりイベント</b> 佐賀城下ひなまつりの開催にあわせ、中心市街地の賑わいづくりのためにイベントを開催した。期間中の各日曜日に「むつごろうパンマルシェ」や「いちごマーケット」などイベントを開催した。	(A) 令和5年2月11日～3月21日 (B) 呉服元町、白山ほか中心市街地 (C) 3人	(D) 来訪者 (E) 4,490人	3,172
	⑤ 中心市街地の歴史伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業			6,958
⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	未実施			
	⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業			
⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業	<b>松原参道管理事業</b> 松原神社門前の南北に広がる空地を街づくりに貢献する賑わいの広場として、景観上及び安全性確保の観点から芝生広場として管理運営した。	(A) 通年 (B) 松原神社鳥居に隣接する新馬場通りの南側及び北側 (C) 5人	(D) 市民 (E) 不特定多数	3,721
	<b>656広場横芝生広場管理</b> 旧オギハラ跡の芝生広場を656広場利用者の駐輪場として管理した。	(A) 通年 (B) 呉服元町656広場南側 (C) 1人	(D) 地域住民及び656広場利用者 (E) 不特定多数	375
	⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業			4,096
⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	未実施			
	⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業			
⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理	未実施			

及譲渡する事業	⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡する事業			
⑩ 中心市街地の商業の充実を図るための事業	<b>得するまちのゼミナール</b> 商業者が講師となって、専門知識やプロならではのコツ等を無料で提供する少人数制の講座。商店と消費者のコミュニケーションの質向上を狙ったゼミナールを実施した。通算8回を数える。	(A) 【第5回】 まちゼミ経営支援セミナー:令和4年6月30日、第2回説明会:令和4年7月29日、直前説明会:令和4年9月8日、ゼミ開催:令和4年9月27日～10月26日 結果報告会:令和4年12月5日 (B) 佐賀商工ビル、中心市街地 (C) 1人	(D) 地域住民及び来街者 (E) 240人	2,316
	<b>エスプラッツ誕生祭</b> 佐賀城下栄の国まつりの開催に合わせて、エスプラッツビルの再開を記念して実施している恒例イベント。	(A) 令和4年8月6日・7日 (B) エスプラッツ (C) 4人	(D) 地域住民及び来街者 (E) 不特定多数	1,103
	<b>第16回桶の杜手づくり市事業</b> 全国の手づくり作家が集まる手づくりアートフェスタ。新型コロナウイルス感染予防を行いながらの実施となった。多くの来場者が訪れ買物を楽しんだ。他のイベントにあわせて開催し、街なかの回遊性向上につながった。	(A) 令和5年3月4日、5日 (B) 八幡神社境内 (C) 6人	(D) 出店者、来訪者 (E) 2,000人	2,640
	<b>公募型空き店舗対策事業</b> 年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行う事業。本年は3店舗が合格、出店した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地で出店を希望する者 (E) 不特定多数	6,149

	<p><b>街なか出店伴走支援事業</b> 令和 3 年度スタートした商店主向けのスタートアップ支援事業。中心市街地の空き店舗で商売を実践しながら毎月の経営支援プログラムを受講させ独り立ちを支援した。</p>	<p>(A) 通年 (B) 佐賀市白山 (C) 1 人</p>	<p>(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い事業者 (E) 出店者1店舗</p>	1,224
	<p><b>佐賀市街なかパル事業</b> 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。参加店の新規開拓に寄与するとともに、街なかの活性化を進めることが狙い。参加店数、販売冊数ともに前回は上回る実績を得た。</p>	<p>(A) 令和 4 年 11 月 1 日～11 月 23 日 (B) 中心市街地内 (C) 6 人</p>	<p>(D) 市民 (E) パスポート販売冊数 953 冊</p>	1,649
	<p><b>銀天夜市協賛事業</b> 55 回目を数える商店街の恒例イベント。主に656広場で実施するイベントの企画実施を担当し、カラオケやBMXのイベントを実施した。</p>	<p>(A) 令和 4 年 7 月 16 日・23 日・30 日、8 月 6 日 (B) 656 広場 (C) 1 人</p>	<p>(D) 市民 (E) 1,500 人</p>	342
	<p><b>えびすビアパーティー</b> 新型コロナの影響で席数を例年の半数(150 席)で実施し、チケット販売数、入場者数ともに前年の実績を上回った。</p>	<p>(A) 令和 4 年 8 月 24 日 (B) 656 広場 (C) 6 人</p>	<p>(D) 市民 (E) チケット販売冊数 392 冊</p>	1,183
	<p><b>中央大通り賑わい創出事業</b> 中央大通りエリアの日常のかつ継続的な賑わいの創出を目的に通りに沿いの企業にイベントを公募。5つの事業所で5件イベントを採択し、4件が実施された。</p>	<p>①どんぐりキッズ市場@緑道広場 (A)令和 4 年 10 月 10 日 (B)唐人町緑道広場 (C) NPO 法人空地・空家サポートSAGA ② SAGA IPPIN GRAND-PRIX (A)令和 4 年 9 月 3 日 (B)唐人町緑道広場 (C)#TEAM サガハピ実行委員会 ③ジョブチャレンジ～お仕事体験～ (A)令和 4 年 12 月 10 日 (B)唐人町各所</p>	<p>(D) 市民 (E) 参加者 1,810 人</p>	1,545

		(C) 学校法人前田文化学園 ④バルーナーズカップ フリースロー大会 (A) 令和4年8月6日 (B) 唐人2丁目交差点 (C) 佐賀商工会議所		
	学生チャレンジマルシェ事業 佐賀市を中心とした県内の学生の学外活動を支援した。高志館高校による生産物の販売会を開催。また、バルーンフェスタサテライトでは、県内5校(大学、高校)と飲食店がコラボしたお弁当を販売する「街弁フェア」を開催した。	(A) 令和4年4月23日、6月11日、11月5日 (B) 佐賀玉屋1階オープンスペース、新馬場通り芝生広場、わいわい!! コンテナ2 (C) 2人	(D) 県内高校5校、西九州大学 (E) 未計測	325
	⑩ 中心市街地の商業の充実を図るための事業			18,476
⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	<b>古賀ビル管理事業</b> 佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として「デジタル・ハリウッド」がオープンした。当法人はオーナーから物件を借り、転貸を実施している。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に出店を考える事業者及び建物所有者 (E) IT技術を習得したい不特定多数	2,148
	⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業			2,148
⑫ その他第3条の目的を達成するために必要な事業	<b>のみん缶太事業</b> 飲料水の街づくり支援自動販売機を設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数の購買者	898
	<b>本部会計事務費</b> 人件費や租税公課、交際費等NPOの活動に必要な補助的経費の管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	169
	⑫ その他第3条の目的を達成するために必要な事業			1,067



## (2)その他の事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	<b>えびす駐車場事業</b> 駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目 (C) 2人	16,075
	<b>佐野駐車場事業</b> 駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	1,452
	① 駐車場業		17,527
② 不動産仲介 事業	未実施		